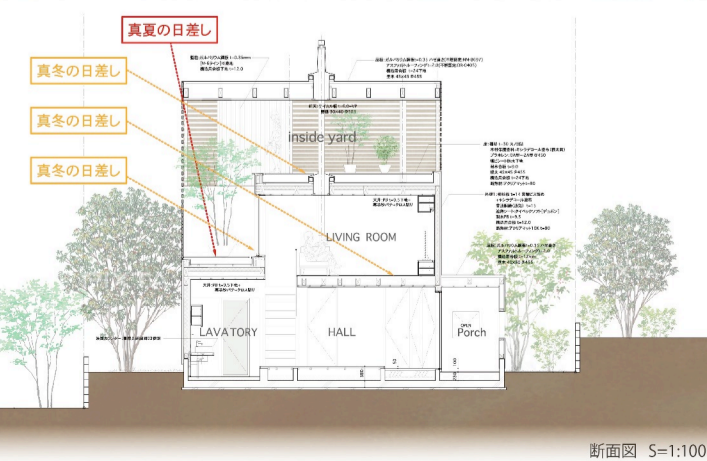
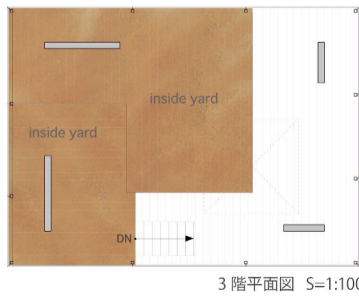
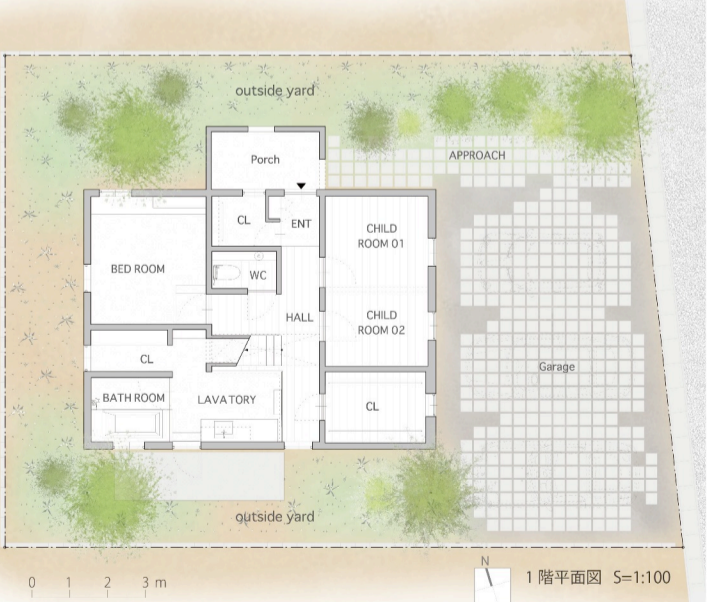
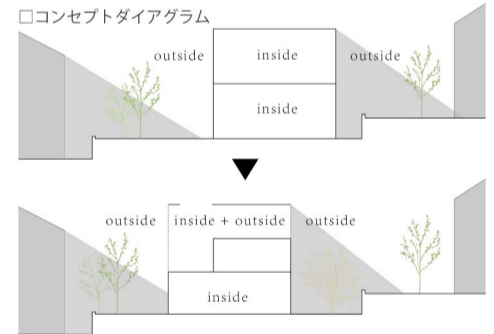
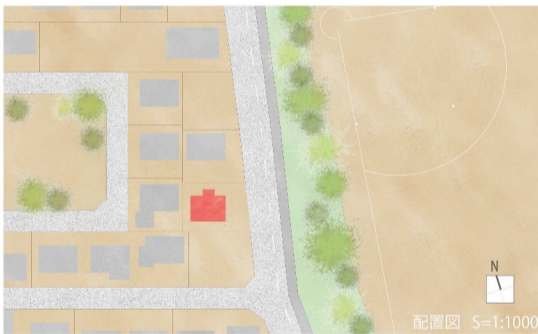




社山の家

愛知県東海市に建つ個人住宅である。敷地は宅地開発によって山を切り開き、緩やかに雑壇状に造成された敷地である。また地区計画内にあり周辺は建売住宅が建ち並び、画一的な街並みが広がっている。周辺一体の建物は区分けされた敷地に対して可能な限り北側へ寄せ、わずかばかりの庭を南へ配しさらには南側隣地の建物の背を望む暮らしを強いる状況となっている。そこでこの状況を打開する建物と周辺環境との新たな在り方を考える必要があった。計画は敷地のほぼ中央へ建物を配置し、駐車場やアプローチを含め周辺へ空地を確保し、樹木を植えて周辺環境と連続させた。そして建物の屋根の上にさらに屋根をかけることで、屋上にも一つの空間をつくりだし、室内のような庭のある暮らしを提案した。その庭には一体的に利用できるよう家族や友人が集まれる明るく大きなリビングを設け、庭全体を囲う壁は、閉ざされた空間のつくり方ではなく、壁の密度を設計し住まい手に合わせたセミオープンなつくり方とした。リビングからは庭までを一体の部屋のように感じることができるよう壁の密度を濃くし、庭にいるときは壁の隙間から外部を感じることができるよう密度を薄くし、街の気配が現れるようにした。さらに空の広がりや眺めを楽しめるように階層を吹き抜けとし、そこにハンモックやガーデンスペースを設えることで、室内のように使われたり室外のように使われたり、多様な活動が生まれる場とした。建物が完成すると、室内のような庭からは光や風、空などの光景が建物の内部へ入り込み、人が動くことで内外が繋がったり離れたりしながら空間の大きさが変化していき、人の行為によって空間の質や名前が変わっていくような状態が現れた。室内のような庭を通して住宅と街が緩やかに繋がり、互いに呼応し合うような関係性を築くことで、多様な場や体感が生まれ、空間や人の感じる豊かさとなるのではないかと考える。



建物概要  
 所在地：愛知県東海市加木屋町社山 378 番地  
 主要用途：一戸建て住宅  
 構造：木造 3階建て  
 敷地面積：224.22 m<sup>2</sup> (67.7 坪)  
 建築面積：65.62 m<sup>2</sup> (19.8 坪)  
 延床面積：154.07 m<sup>2</sup> (46.5 坪)  
 1F：65.62 m<sup>2</sup> CH=2100  
 2F：55.06 m<sup>2</sup> CH=2100 ※2F テラス CH=4350  
 3F：38.29 m<sup>2</sup> CH=2200

